

職場に広がる不安

会社また合理化を

労働条件切下げ狙う

「貯炭増」を口実に実施

このほど会社は「貯炭増」を口実に、労働強化・賃金その他の労働条件切下げ、などを内容とする合理化を押しつける考えのあることを明らかにしたが、これはかんじんの保安体制に危機をもたらすとして、今職場に不安が広がりはじめている。

すでに各職場では「規定外労働 三池の石炭産額をこれまで五百の制限」「強度労働の押しつけ」二十万トンだったのを五百万トン「器材の節約」など着々と既成事実にする、新規採用をストップして実を積み上げながら、明らかにしないうちに人員で目標出炭を確保し、合理的な合理化を進め始めているが、規定労働時間のなかで作業会社は一月十五日三池労組に対し、遂行をお願いし出炭率を確保するよう、合理化計画を検討していることを明らかにした。

「貯炭増」が口実で、組合がため、保安機動隊のようなものをつくらせよう」と組合が提案した内容、昭和五十四年度上期から、に、「その考えはない」と、保安

坪沼(知)・川口(市)推薦 統一地方選挙 完勝めざしきめる

中央委

三池労組はこのほど開いた中央委員会、福岡県知事選挙に坪沼寿義候補を、大牟田市長選挙に川口六平候補を推薦することをきめ、いよいよ統一地方選挙にぞむことになった。

二十六日に開かれた中央委員会、動方針をきめた。これですべてのは、せまる統一地方選挙のうち福岡県知事選挙に坪沼寿義候補を、大牟田市長選挙に川口六平候補を、真の敵を明らかにし、総力をあげて、各級機関すべての公認・推薦選挙闘争に勝利をめざすための活動の当選を勝ちとり、勤労市民

旗開きで闘い誓う

大牟田・荒尾の両地評が

新聞は芦別炭鉱労組の機関紙「あしろ」の新年号。同じ三井の支配するこのヤマの労働者も不屈に闘っているのだ。

大牟田地評は一月九日、また荒尾地評は同日十二日、それぞれ新年の旗開きの集会を開き、心から奮闘・統一地方選挙の勝利を誓い合った。(組合員五十三人)などの参加もあり、不当な差別にも屈せず闘い抜いた荒尾タクシー労組代表ほか尾地区の旗開きには地評加勢の力強い意見発表が集会を盛りあげた。



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話(53)3033番
(53)3034番
編集兼
前川哲也
半年間1,200円 送料共

裁判公判日程

上村裁判公判 二月二十七日
午前十時から福岡高裁。この
公判で結審となる予定。
三池大災害裁判公判 四月二
十六日午前十時から福岡地裁
で。前回公判での金子証言に対
する、会社側弁護士による反対
尋問が行われる。

三川鉱でマイト事故

清水沢では死亡災害が

二十八日午前
三時三十分頃、
三川鉱(平賀
哲陽鉱長)の
一掘進切羽で
ダイナマイト
事故が発生、
労働者四人が
重傷を負う災
害をひき起し
たが、これ
に先だつ一月
十七日、北海
道の清水沢鉱
(夕張市清水
町)では落盤事故が起き、二人の
坑内労働者がその下敷となり死
亡した。死亡したのは佐藤孝次郎
さんと佐々木徳二さんの二人で、
その日鉄柱回収準備作業に当た
っていた犠牲者となったこと。

お知らせ

三池労組は、きたる二月二
十四・二十五日、今年の職場
新聞活動者会議を開き、活動
の前進をめざして学習・交流
を行うこととしていましたと
ころ、重要な行事と重なるた
ため開催不能となりましたの
で、延期することにきめまし
た。
開催日がきまりましたら、
全職場分会の協力を得て成功
するようになりたいと思ってい
ますので、よろしくお願ひし
ておきます。
――編集部

統一地方選挙日程

告示	投票
3月14日	4月8日
3月27日	4月8日
4月12日	4月22日
4月12日	4月22日

注＝なお熊本県知事選挙はすでに行われていて、この4日の投票をもって終る。



知恵

パート収入と所得税の関係
はかからない。パート収入が
七十万円以下七十九万円以下
者控除が受けられず、税金は
かからない。パート収入が七
十九万円を超えた場合、配偶
者控除が受けられないという
に、パート収入にも税金がか
かる。

パート収入と所得税の関係

パート収入は給与所得に
なり、所得控除(五十万円)
を差し引いた額が二十万
円以下であれば、配偶者
控除が受けられます。二
十九万円を超えると、主
婦自身の所得に税金がか
かります。
そこでパート収入と所得税
との関係は次のようになります。
告は二月十六日から三月十五
日まで領収証を持参して、税
務所で手続きをとりまします。
夫の所得から配偶者控除が受
けられ、パート収入にも税金
い合せを。

パート収入七十万円以下
の所得から配偶者控除が受
けられ、パート収入にも税金
い合せを。